



《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

2学期を振り返って

2学期も残すところ、あと3日となりました。今学期は、大きな行事もたくさんあり、それぞれの体験をとおして、子どもたちの大きな成長を感じました。特に学芸会では、どの学年も自分たちでよい発表にしようという気持ちで創り上げていった姿に感心しました。やりぬいたという満足感をもっている子どもたちに、保護者の皆様、悲眼院の先生方がさらに温かいメッセージを送ってくださったことで、子どもたちの自尊心は高まり、大きな自信にもつながりました。

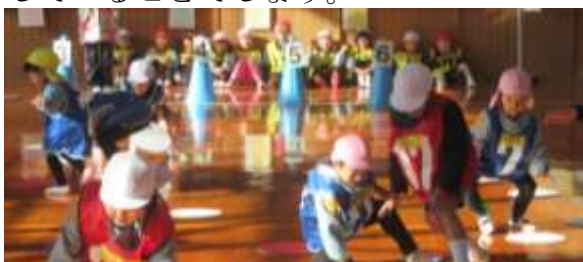
また、地域の皆様にも様々な活動で支援をいただきました。毎月の読み聞かせ、家庭科の裁縫や調理実習、朝会での塩田館長さんの話、6年生の「発見 北川の歴史」、5年生の「米づくり」、2年生の「芋づくり」など、多くの支援をいただきました。子どもたちは地域の人と関わることにより、地域を愛する心やコミュニケーション力が育ちます。そして、地域の方に子どもたちを知っていただくことにより、子どもたちは地域から守られるのです。本当にありがたいことだと思っています。

今年度は、「なりたい自分」に向かって、それぞれががんばることを決めて取り組んでいます。毎月、自分が決めたことができたかどうかを振り返り、また、次の月に向かってがんばっています。ふりかえりカードを読んでいると1学期より、さらに自分をしっかりと振り返っている様子が見られ、嬉しく思っています。

こうした子どもたちの育ちは、保護者の皆様、悲眼院の先生方の学校の教育方針に対するご理解とご協力のおかげだと感謝申し上げます。

北川保育所、尾坂幼稚園の年長さんと 1年生が交流会をしました！

12月12日（水）に、北川小学校の体育館でゲームをして一緒に遊びました。1年生がお兄さんお姉さんぶりを発揮して会を進行しました。年長児の子どもたちは、小学校入学をきっと楽しみにしていることでしょう。



4年生 総合的な学習「伝え合う心」で体験学習

12月6日（木）に点字、12月17日（月）に車いす、アイマスクの体験学習を行いました。障害のある人の話や体験学習を通して、人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを学び、自分にできることは何だろうと考えました。



～多様な文化を学ぶ外国語活動～

12月18日（火）の2校時に5・6年生，3校時に3・4年生が合同で外国語活動の授業を行いました。今回は，12月の人権学習の一環で多様な文化の存在を知り，日本の文化と異文化との比較により，様々な考え方があることに気づかせることをねらいとした授業でした。授業の一部を紹介します。

ALTのアダム先生の母国であるウガンダについて，地理や文化などを教えていただきました。

【ウガンダの国旗の色の意味について】



- ← 黒色・・・肌の色 つまり黒人
- ← 黄色・・・太陽の光
- ← 赤色・・・血の色は同じ つまりみんな仲間
- ← 国鳥・・・ホオジロカンムリヅル

【日本からウガンダまで何時間？】・・・ 飛行機を乗り継いで約15時間

【ウガンダの言語は何種類ある？】

日本は日本語だけですが，ウガンダは50種類あるそうです。英語が公用語で，アダム先生は，英語と英語以外のウガンダの言語が2種類と日本語が話せるそうです。

【主食は？】・・・ポシヨ（とうもろこしの粉をお湯で練ったもの）

【マンゴーの値段は？】

100円で6，7個買えるそうです。子どもたちの「え～，いいなあ。」という声が聞こえてきました。

【11月頃のポピュラーなおやつは？】

グラスホッパー（バッタ）と聞いて，子どもたちから「え～っ！！」と驚きの声！でも，とってもおいしいそうです。

【よく食べる肉は？】・・・ヤギの肉

【伝統衣装は？】・・・カンズー



ウガンダの子どもたちが太鼓のリズムに合わせて楽しそうに踊っている学芸会の様子や，朝の会の様子などの映像も見ました。自分たちと違う様子に驚いたり，感心したりしていました。

この学習を通して，子どもたちが自分と違うものを排除するのではなく，違いを受け入れ理解しようとする心が育くまれることを願っています。